

小学校第6学年 音楽科学習指導案

- 1 題材 「音やフレーズをつなげて,重ねて楽しもう！」
- 2 教材 「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」(モーツァルト作曲) (鑑賞)
「音やフレーズをつなげて重ねて」 (音楽づくり)

3 題材設定の理由

○ 本題材「音やフレーズをつなげて,重ねて楽しもう！」は,児童が鑑賞の活動を通して曲想と音楽の構造との関わりについて理解したことを活用し,音やフレーズをつなげ方や重ね方を工夫しながら,呼びかけとこたえ,音楽の縦と横の関係などを生かして,思いや意図を持って音楽づくりができるようにすることをねらう。鑑賞教材は,「魔笛」第2幕第29場の「パパゲーノとパパゲーナによる二重唱」を使用する。パパゲーノ(男声)とパパゲーナ(女声)の掛け合いが楽しく,呼びかけとこたえ,音楽の縦と横の関係などを聴き取り,それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取ることに適した教材である。

○ 本学級の児童は,自分の願いや考えを持って音楽活動に取り組み,表情豊かに歌ったり,演奏したりできる児童が多い。特に音楽づくりでは,87.5%の児童が「自分のイメージや思い,場面の様子などを音や音楽で表現することは好き」と回答しており,音や音楽を通して積極的に表現しようとする意欲が高いことが分かる。

しかし,音楽づくりで「音楽の仕組みを生かす工夫をしている」と回答した児童は20.8%で,音楽の仕組みを生かしてまとまりのある音楽をつくることに苦手意識を持っている児童が多い。音楽の仕組みとは特定の音楽に関わるものではなく,世界の様々な国や地域の音楽に共通するものである。音楽の仕組みの働きが生み出すよさや面白さを感じ取らせ,それらを音楽活動で生かすことができるようになることは,児童が音楽活動をする上において大切なことである。

○ そこで,本題材では,まず,第1時で「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」を聴かせ,感じ取ったことからその理由を考えさせることで,音楽の仕組みの働きによって生み出されるよさや面白さと,音楽の構造との関わりを理解できるようにする。具体的には,例えば「楽しく笑顔で会話しているようだ」と感じた理由を,呼びかけとこたえの同じリズムの掛け合いに求めたり,にぎやかさが増す理由を細かいリズムに変わることや掛け合いの間隔が短くなることに求めるなどして理解ができるようにする。その際は,感じ取ったことを自分のイメージや感情,経験と関連させたり,実際に歌ったり聴き比べをしたりする活動を通して,豊かな聴き取り,感じ取りができるようにする。また,友達と交流し他者と考えを共有したり,共感したりする中で「曲想と音楽の構造との関わり」についての理解を深めさせるようにする。

第2時の音楽づくりの活動では,第1時で曲想と音楽の構造との関わりについて理解したことを基に,呼びかけとこたえ,音楽の縦と横の関係などを生かして2人組で音楽づくりに取り組ませる。その際は,日常生活で起こり得る場面を想定させ,その場面に合った音楽をつくらせることで思いや意図を持って音楽づくりができるようにする。また,中間発表会で互いに作品を紹介し,他者の表現のよさを自分たちの音楽にも生かすことができるようにするとともに,そのことによって曲想と音楽の構造との関わりについての理解を深め,新たな気付きや理解ができるようにする。

さらに,第3時では,中間発表会での気付いたり理解したことを基に,自分たちにとって価値のある音楽になるよう音楽を工夫させる。最終的な作品の紹介では,互いのよさを認め合いながら達成感を味わわせるようにする。また,題材全体を通して曲想と音楽の構造との関わりについて理解したこ

とをつながり発見シートに記入させ、本題材での学びの跡を残すとともに、今後の新たな学習過程における音楽活動でも、それらを生かすことができるようにする。これらの取り組みにより、「曲想と音楽の構造との関わりについての理解」を深めさせ、音楽活動の中で音楽の仕組みを生かしながら、よりよい音楽表現ができる力を育成したいと考える。

4 題材の目標

男声と女声の掛け合いや音の重なりなどが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横の関係などの音楽の構造を理解して聴いたり、それらの音楽の仕組みを生かしてまとまりのある音楽をつくったりすることができる。

5 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> 「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」の音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる音楽の構造を理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 【関一①鑑賞】 音楽の仕組みを生かし、音を音楽に構成することに興味・関心を持ち、見通しを持って音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 【関一②音楽づくり】 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、音を音楽に構成するための試行錯誤をし、つくる音楽やその方法などについて自分の考えや願い、意図、見通しを持っている。 【創一①音楽づくり】 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の仕組みを生かし、見通しを持って音を音楽に構成している。 【技一①音楽づくり】 	<ul style="list-style-type: none"> 「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」の音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる音楽の構造を理解して聴いている。 【鑑一①】

6 本題材で位置付ける〔共通事項〕 (ア) 音楽を特徴付けている要素 (イ) 音楽の仕組み

- (ア) 音色、リズム、音の重なり
- (イ) 呼びかけとこたえ、音楽の縦と横の関係

7 指導と評価の計画（3時間）

次	時	学習内容及び学習活動(●)	・教師の指導・支援	評価規準と方法
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」を聴き、曲想をつかむ。 ● 曲想と音楽の構造との関わりをつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「どのような人物が、どのような表情で何をしているのか」について考えさせ、曲想をつかみやすくする。 ・ 「感じ取ったこと」の理由を音楽を形づくっている要素が関わり合ってつくる音楽の構造と関わらせながら考えさせ、音楽的な根拠に基づく理解ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」の音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる音楽の構造を理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 【関一①鑑賞 つながり発見シート】 ・ 「パパゲーノとパパゲーナの二重

	<ul style="list-style-type: none"> ●「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」の紹介文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉による表現が困難な児童には、「表現の例」や「使いたい言葉の例」を参考にしたり、選択したりできるようにする。 ・つながり発見シートを用いることで、考えを可視化させる。 ・低学年の友達に向けた紹介文を書かせ、自分の言葉で分かりやすく表現できるようにする。 	<p>唱」の音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる音楽の構造を理解して聴いている。</p> <p>【鑑一① つながり発見シート、紹介文】</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ●2人組で、日常生活で起こり得る場面を想定し、音楽の仕組みを生かした音楽づくりに取り組む。 ●中間発表会で作品を紹介し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習をつながり発見シートを基に振り返らせ、曲想と音楽の構造との関わりについて理解したことを、本時の音楽づくりに生かすことができるようにする。 ・前時の学習を生かして、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横の関係などを生かした音楽づくりに取り組ませる。 ・場面に合った音楽を考えることで、思いや意図を持って音楽づくりができるようにする。 ・リコーダーと鍵盤ハーモニカから自分たちの思いに合う楽器を選ぶことができるようにする。 ・作品を互いに紹介し、よさを自分の音楽に取に取り入れることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の仕組みを生かし、音を音楽に構成することに興味・関心を持ち、見通しを持って音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 【関一②音楽づくり 発言内容、行動観察】 ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、音を音楽に構成するための試行錯誤をし、つくる音楽やその方法などについて自分の考えや願い、意図、見通しを持っている。 【創一①音楽づくり ワークシート】
3	<ul style="list-style-type: none"> ●中間発表会での気づきを基に更に工夫する。 ●発表会をする。 ●題材のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を工夫する時間を設け、満足感や達成感を味わうことができるようにする。 ・作品を紹介し合わせ、互いによさを認め合うことができるようにする。 ・それぞれの作品のよさから、曲想と音楽の構造との関わりについての理解を深めることができるようにする。 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解したことをつながり発見シートにまとめさせ、題材における学びを振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の仕組みを生かし、見通しを持って音を音楽に構成している。 【技一①音楽づくり つながり発見シート】

8 授業の展開

【1 / 3時目】

(1) 目標

掛け合いや音の重なりなどが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横の関係などの音楽の構造を理解して聴く学習に進んで取り組む。

(2) 展開

過程	学習活動	教師の指導 (○)・支援 (●)	評価規準と評価方法
導 入	0 音楽遊びをする。	○2人組でリズムの模倣しながら、楽しく音楽の仕組み（呼びかけとこたえ、反復など）に着目できるようにする。	
	1 学習内容を知る。 (1) 曲想を予想する。 (2) 本時のめあてを知る。	○曲名から自由に曲想を想像させてからその根拠を問い、音楽を形づくっている要素に着目させる。 ○「パパゲーノ」と「パパゲーナ」は名前であることを伝え、見通しを持って聴くことができるようにする。	
めあて：「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」を聴いて、『音楽の仕組み』のひみつを探ろう！			
展 開	2 「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」を聴き、曲想と音楽の構造との関わりをつかむ。 (1) 「感じ取ったこと」を書く。	○聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを捉えさせることで曲想と音楽の構造との関わりを捉えることができるようにする。 ○「どのような人物が、何をしていると思ったか」の視点を示し「感じ取ったこと」を表現しやすくする。 ○「その人物の表情や気持ち、行動や様子、会話」などの視点を示し、自分のイメージや感情、経験と結び付けて考えることができるようにする。	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」の音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる音楽の構造を理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 【関－①鑑賞 つながり発見シート】</p> </div>
	(2) 「聴き取ったこと」を「音楽を形づくっている要素」と関わらせて書く。 (3) 「曲想と音楽の構造との関わり」について考えたことをグループで共有したり、共感したりする。	○感じ取ったことの原因を考えさせ、音楽を形づくっている要素の一覧を見ながら考えることができるようにする。 ●言葉による表現が困難な児童に対しては、「表現の例」や「使いたい言葉の例」を参考にさせる。 ●個別の対応で経験を想起させたり、友達のつながり発見シートに書かれている内容を参考にしたりしながら考えさせる。 ○つながり発見シートを基に4人グループで交流させ、全員が自分の考えを発表できるようにする。 ○楽譜を提示し、歌ったり聴き比べをしたりしながら、互いの考えに共有したり共感したりできるようにする。 ○交流の時間は小音量で音楽を流し、必要に応じて音楽を聴きながら考えさせるようにする。 ●実際に歌う、聴き比べをする、体を動かすなどしながら、「聴き取ったこと」と「感じ取ったこと」	

展 開	を体験的に理解できるようにする。		
	(児童の反応例) 「男の人と女の人が楽しそうに会話している」 → 「声が男声と女声があるから」 → 「2人で会話するような歌になっているから」 → 「女声と同じリズムで男声が反復しているから、仲がよさそう」 「2人の気持ちが盛り上がっているところがある」 → 「リズムが細かくなっている」 → 「1小節ごとに交代して会話している」 「2人の気持ちが合っている」 → 「最後は2人で一緒に歌っている」		
	(3) 全体で共有したり共感したりする。 3 「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」の紹介文を書く。	○グループ交流で出た内容のうち、学級全体で共有したい内容を発表させる。 ○実際に歌ったり、聴き比べをしたりしながら他者の考えを確認させ、より共有したり共感したりできるようにする。 ○発表内容を整理しながら板書し、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横の関係などの音楽の仕組みとリズム、音色などの音楽を特徴付けている要素との関わり合いを捉えやすくする。 ○低学年の友達を対象に紹介文を書かせることで、分かりやすく、自分の言葉で表現できるようにする。	「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」の音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる音楽の構造を理解して聴いている。 【鑑一① つながり発見シート、紹介文】
ま と め	4 本時の学習を振り返る。 ・次時の学習を知る。	○紹介文を基に本時の学習を振り返らせ、本時の感想を発表させる。 ○次時は、音楽づくりに取り組むことを伝え意欲を高めさせるようにする。	

〈評価規準と評価の方法〉

「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」の音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる音楽の構造を理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。【関一①鑑賞 つながり発見シート】		
十分満足 (A) と判断する目安	おおむね満足 (B) と判断する目安	●個別対応で経験を想起させたり、友達のつながり発見シートの内容を参考にさせたりしながら考えさせる。 ●言葉による表現が困難な児童に対しては、「表現の例」や「使いたい言葉の例」を参考にさせる。
「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」を聴いて感じ取ったことを、自分の経験やイメージと3つ以上結び付けたり、結び付きを具体的に例を挙げたりしながらつながり発見シートで説明している。	「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」を聴いて感じ取ったことを、自分の経験やイメージと1～2つ結び付けて、つながり発見シートで説明している。	

「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」の音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる音楽の構造を理解して聴いている。
【鑑一① つながり発見シート、紹介文】

十分満足 (A) と判断する目安	おおむね満足 (B) と判断する目安	●実際に歌う、聴き比べをする、体を動かすなどしながら、聴き取ったことと感じ取ったことを体験的に理解できるようにする。
(B) を満たした上で、紹介文で曲想と音楽の構造との関わりを、音楽を形づくっている要素と関わらせて書いている。	「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」の曲想と音楽の構造との関わりについて、音楽を形づくっている要素と関わらせながらつながり発見シートに記入している。	

【2 / 3 時目】

(1) 目標

呼びかけとこたえ、音楽の縦と横の関係などを生かして音楽をつくる学習に進んで取り組み、掛け合いや音の重なりなどが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音やフレーズのつなげ方や重ね方を工夫する。

(2) 展開

過程	学習活動	教師の指導 (○)・支援 (●)	評価規準と評価方法
導入	0 音楽遊びをする。 1 学習内容を知る。	○2人組でリコーダーを使った音楽遊び(まねっこあそび)をさせ、楽しみながら音楽の仕組みに着目できるようにする。 ○前時の学習をつながり発見シートを基に振り返らせ、曲想と音楽の構造との関わりについて理解したことを、本時の音楽づくりに生かすことができるようにする。	
めあて：『音楽の仕組み』のひみつを使って、2人組で音楽をつくろう！(パート1)			
展開	2 2人組で、日常生活で起こり得る場面を想定し、音楽の仕組みを生かした音楽づくりに取り組む。	○日常で起こり得る場面についてのあらすじを考えさせ、つくる音楽に対する思いや意図を持ちやすくする。 ○「どのような人物が、何をしていると思ったか」「その人物の表情や気持ち、行動や様子、会話」などの視点を示し、イメージを持ちやすくする。 ○場面のあらすじに合った音楽をつくることで、思いや意図を音楽で表現できるようにする。 ○リコーダーと鍵盤ハーモニカを使用させ、自分たちの思いや意図に合う音色を選ぶことができるようにする。 ○2人組で考えたあらすじを基に音やフレーズのつなげ方を工夫しながら音楽づくりができるようにする。 ●個別の対応で音楽づくりの手順を示したり、リ	音楽の仕組みを生かし、音を音楽に構成することに興味・関心を持ち、見通しを持って音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 【関一②音楽づくり 発言内容、行動観察】

<p>展 開</p>	<p>3 中間発表会で作品を紹介し合う。</p>	<p>コーダーや鍵盤ハーモニカで演奏を支援したりする。 ○使用する音を「ミソラド」の4音に限定し、音楽づくりがスムーズに進むようにする。 ●音楽づくりがスムーズに進まない児童に対しては、リズムカードを提示したり、前時の学習内容を振り返らせたりして考えさせる。 ○5グループに分かれ、作品を紹介し合うことで、互いの表現のよさを自分たちの音楽にも取り取り入れることができるようにする。 ○発表に当たっては工夫した点についても説明をさせて、工夫した点を互いに理解しやすくする。 ○互いの工夫から、曲想と音楽の構造との関わりについての理解を深めることができるようにする。</p>	<p>音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら音楽の仕組みを生かし、音を音楽に構成するための試行錯誤をし、つくる音楽やその方法などについて自分の考えや願い、意図、見通しを持っている。 【創一①音楽づくり つながり発見シート】</p>
<p>ま と め</p>	<p>4 学習を振り返る。 ・次時の学習を知る。</p>	<p>○本時の学習を称賛するとともに、次時は音楽を更に工夫して、全体で発表会をすることを伝え、意欲を高めさせる。</p>	

〈評価規準と評価の方法〉

音楽の仕組みを生かし、音を音楽に構成することに興味・関心を持ち、見通しを持って音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。【関一②音楽づくり 発言内容、行動観察】

<p>十分満足 (A) と判定する目安</p>	<p>おおむね満足 (B) と判定する目安</p>	<p>●個別の対応で音楽づくりの手順を示したり、リコーダーや鍵盤ハーモニカで演奏を支援したりする。</p>
<p>進んで演奏したり聴き合ったりしながら、音を通した音楽づくりに積極的に取り組み、中間発表会で感想を伝えている。</p>	<p>進んで演奏したり聴き合ったりしながら、音楽づくりに積極的に取り組んでいる。</p>	

音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、音を音楽に構成するための試行錯誤をし、つくる音楽やその方法などについて自分の考えや願い、意図、見通しを持っている。【創一①音楽づくり つながり発見シート】

<p>十分満足 (A) と判断する目安</p>	<p>おおむね満足 (B) と判断する目安</p>	<p>●音楽づくりがスムーズに進まない児童に対しては、リズムカードを提示したり、前時の学習内容を振り返らせたりして考えさせる。</p>
<p>呼びかけとこたえ、音楽の縦と横の関係などを生かした音やフレーズのつなぎ方の工夫について、2つ以上、もしくは音楽を特徴付けている要素と関わらせてつながり発見シートに書いている。</p>	<p>呼びかけとこたえ、音楽の縦と横の関係などを生かした音やフレーズのつなぎ方の工夫について、1つ以上の内容をつながり発見シートに書いている。</p>	

【3 / 3時目】

(1) 目標

呼びかけとこたえ、音楽の縦と横の関係などが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、それらの音楽の仕組みを生かして、まとまりのある音楽をつくる。

(2) 展開

過程	学習活動	教師の指導 (○)・支援 (●)	評価規準と評価方法
導 入	0 音楽遊びをする。	○2人組でリコーダーを使った音楽遊び(まねっこあそび)をしながら、楽しく音楽の仕組みに着目できるようにする。	・
	1 学習内容を知る。	○前時の学習を称賛し、本時は作品を更に工夫して音楽を完成させることを伝えて本時の学習に対する意欲を高めさせる。	
めあて：『音楽の仕組み』のひみつを使って、2人組で音楽を完成させよう！（パート2）			
展 開	2 前時につくった音楽を工夫する。 (1) 中間発表会での気付きを振り返る。	○前時につくった音楽を演奏させ、本時の学習につなげることができるようにする。 ○中間発表会での気付きを振り返らせ、本時の活動に見通しを持つことができるようにする。 ●本時の学習に見通しを持つことができない児童に対しては、中間発表会で発見した他者のよさを取り入れて、様々に試行錯誤をしながら音楽を工夫するように声を掛ける。	音楽の仕組みを生かして、見通しを持って音を音楽に構成している。 【技-①音楽づくり つながり発見シート】
	(2) 音楽を工夫する。	○発表会を開始する時刻を児童とともに決定し、主体的に児童が活動を進めることができるようにする。 ○演奏したり聴き比べたりしながら工夫している児童を称賛して、実際に音や音楽を通した工夫をしようとする意欲を高める。 ●活動が滞った児童に対しては、「表現の例」を示したり、参考となるような音楽の演奏を示したりしながら、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横の関係に着目できるようにする。	
	3 発表会をする。	○中間発表会と異なるグループで発表会を行い、多くの工夫を知ることができるようにする。 ○互いの音楽のよさについて感想交流をさせ、認め合うことができるようにする。	
	4 題材のまとめをする。	○互いの工夫から、曲想と音楽の構造との関わりについての理解を深めさせ、新たな気付きをつながり発見シートに記入させる。	
ま と め	5 題材のまとめをする。	○題材全体を通し、曲想と音楽の構造との関わりについて理解したことをつながり発見シートにまとめさせ、自分の成長を自覚できるようにする。	

〈評価規準と評価の方法〉

音楽の仕組みを生かし、見通しを持って音を音楽に構成している。【技-①音楽づくり つながり発見シート】		
十分満足 (A) と判断する目安	おおむね満足 (B) と判断する目安	
シナリオを基に、呼びかけとこたえと音楽の縦と横の関係を生かして、まとまりのある音楽をつくっている。	シナリオを基に、呼びかけとこたえを生かして、まとまりのある音楽をつくっている。	●活動が滞った児童に対しては、「表現の例」を示したり、参考となるような音楽の演奏を示したりしながら、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横の関係に着目できるようにする。